

第34回 家村中佐の兵法講座

兵法書として読む『古事記』『日本書紀』

第8話 履中天皇から安康天皇まで

日本最古の史書とされる『古事記』『日本書紀』には、遠い昔から今に伝わる日本人の戦争観や武力行使のあり方、優れた戦略・戦術や軍隊の指揮・統率など、現代社会においても十分に役立つ最高の兵法書としての教えが数多あります。今回の兵法講座では、仁徳天皇崩御後の皇子たちのあいつぐ身内争いや、豪族による姓の嘘偽りの横行を正した允恭天皇の話、『宋書』『広開土王碑文』の記述との関連などについて、図や絵を用いながらビジュアルに、分かりやすく解説いたします。

日時：平成29年8月19日（土）13：00開場、13：30開演（16：00終了予定）

場所：文京シビックセンター5階 会議室A

講師：家村和幸（日本兵法研究会会長、元陸上自衛隊戦術教官・予備2等陸佐）

参加費：1,000円（会員は500円、高校生以下無料）

お申込：MAIL info@heiho-ken.sakura.ne.jp FAX 03-3389-6278

件名「兵法講座」にてご連絡ください。

国防を語らずして、日本を語るなかれ！

第37回 軍事評論家・佐藤守の国防講座

自衛隊を貶めつつづけてきた 「フェイクニュース」の実態

軍事評論家としてブログなどで活躍中の当会顧問・佐藤守が「国防」を熱く語る連続シリーズの三十七回目です。トランプ大統領が登場してから「フェイクニュース」という言葉が一般的に用いられるようになりました。フェイクニュースとは、相手を誹謗・中傷することを目的にして、虚偽の情報でつくられた「うそ記事」です。現在の日本でも、安倍政権に対するメディア報道は、そのほとんどがフェイクニュースですが、実は自衛隊こそが創隊以来ずっとメディアによるフェイクニュースによって悪者扱いされ、国民からの信頼を失うように作為されてきました。

今回の国防講座では、空幕広報室長時代にこれらの悪質なメディアと戦ってきた佐藤顧問が、自衛隊に関する過去のフェイクニュースの実例を示しながら、メディアが何のため、何を狙って、このように自衛隊を誹謗・中傷し、貶めてきたのか、などについて分かりやすく解説いたします。

脱線転覆を交え、大人気の佐藤節が唸ります。どうぞご期待下さい。

日時：平成29年9月30日（土）12：30開場、13：00開演（15：30終了予定）

場所：靖国会館 2階 田安の間

講師：佐藤 守（軍事評論家、日本兵法研究会顧問、元南西航空混成団司令・空将）

参加費：1,000円（会員は500円、高校生以下無料）

お申込：MAIL info@heiho-ken.sakura.ne.jp FAX 03-3389-6278

件名「国防講座」にてご連絡ください。なお事前申込みがなくても当日受け付けます。

日本兵法研究会

ホームページURL <http://heiho-ken.sakura.ne.jp/>